



発行者  
清川村立緑中学校  
清川村煤ヶ谷1933  
046-288-1241

令和5年4月号

## 令和5年度 学校教育目標

暖かい日が増え、令和5年度がスタートしました。緑中学校での校長として3年目を迎えることとなりました。保護者、地域の皆様には、コロナ禍の対応など様々な面で支えてくださり、ありがとうございました。

2月に実施された緑中学校区学校運営協議会において、令和5年度の学校経営方針が承認されました。昨年度の理念を引き継ぎ、さらに発展させていきたいと考えています。

基本理念は、本校の教育活動を推進していくにあたり、根幹となる考え方です。清川村の宝である子どもたちが、共に学び、自律することを目指し、日々の教育活動を行っていききたいと考えています。

すべての生徒が共に学び、自律する  
(村の宝である生徒を誰一人として取り残さない)

この基本理念は、「SDGsの理念」や「清川村教育大綱」を踏まえたもので、共に生きること、自分で考え行動できることを目指しています。そして、この理念に基づいて学校教育目標を設定しています。

- ・誠実に学び、高い志を持った生徒を育てる
- ・共に支え合う、清らかで人間性豊かな生徒を育てる
- ・未来を切り拓く、しなやかでたくましい心と体を育てる

「高い志を持つ」「共に支え合う」「未来を切り拓く」という言葉を強調し、日頃から意識し使用することで、教職員をはじめ生徒や保護者の皆様と、目指すことを共有していきたいと考えています。

この学校の教育目標が、掲げられているだけのお題目にならないよう、教職員一同、精一杯生徒への教育指導にあたっていききたいと考えています。

本年度も、引き続き、保護者・地域の皆様とともに、清川村に育つ子どもたちに、着実に力を付けていきたいと思っております。本年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(校長 松田拓也)

## 第75回 卒業証書授与式 新たな旅立ち

3月8日(水)に第75回卒業証書授与式を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策は継続しながら、卒業生の中には式の途中でマスクを外す姿も見られました。卒業生26名の一人ひとりが、担任に名前を呼ばれると堂々と返事をし、校長から卒業証書を受け取りました。

卒業生の動作や言葉には、これまでの感謝やこれからへの決意がにじみ出ており、中学校3年間の確かな成長を感じさせてくれました。

『永遠に輝き続ける、笑顔と涙が溢れる卒業式～26人の種をそれぞれの場所へ～』という、卒業生自身が考えたテーマどおりの素晴らしい式となりました。一人ひとりが進む新しい場所で、多くのことに挑戦し、自分らしく生きていってほしいと思います。

これまで、本校の生徒を温かく見守ってくださった、地域・保護者の皆様に、改めてお礼を申し上げます。



## 来年度も、よりよい学校を目指して

3月16日(木)に生徒会結団式を行いました。前半では生徒会本部や各委員長から、今年度の活動報告がありました。これまでの活動をふり返ることで、来年度に向けてよりよい学校をつくっていこうという思いを、全体で共有することができました。校歌斉唱では、3年生が卒業して人数が少なくなりましたが、全員で大きな声を出している様子から、上級生としてしっかりと新入生を迎えようという気持ちを感じられました。

後半は球技大会を行いました。体育館でバレーボールや校庭でサッカーをする中で、チームとして力を合わせ、応援をしていき、親睦を深め、来年度の緑中学校を、自分たちの力で創りあげる気持ちを育てていきました。



## 着任・離任した教職員

4名が離任し、2名が着任しました。

これまでのご指導・ご支援に対して、改めてお礼を申し上げます。そして、着任のご挨拶とさせていただきます。

<離任者>

- 小島 美穂 総括教諭  
(平成27年度から勤務)
- 瀬戸 友佳 事務主事  
(平成29年度から勤務)
- 南 寿実也 教諭  
(平成30年度から勤務)
- 足立 颯 教諭  
(令和3年度から勤務)

<着任者>

- 水上 史彦 教諭(音楽)
- 赤津 夏奈 教諭(社会)

